Nagaoka Institute of Design
Graduate School
2021

長岡造形大学 大学院

入試課　〒940-2088 新潟県長岡市千秋 4 丁目 197 番地
Tel.0258-21-3331　Fax.0258-21-3343
E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp
https://www.nagaoka-id.ac.jp/

公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

大学 造形学部　4年
- プロダクトデザイン学科
- 視覚デザイン学科
- 美術・工芸学科
- 建築・環境デザイン学科

他大学/社会人
2019年度
京都女子大学(現代社会学部)
華南大学(デザイン学部)(中国)
ハルビン師範大学／(美術学部)(中国)
2020年度
横浜美術大学(美術学部)　北海道教育大学(教育学部)
大正大学(地域創生学部)　関東学院大学(人間共生学部)

→ **大学院 修士課程**　2年
- プロダクトデザイン領域
- 視覚デザイン領域
- 美術・工芸領域
- 建築・環境デザイン領域
- イノベーションデザイン領域

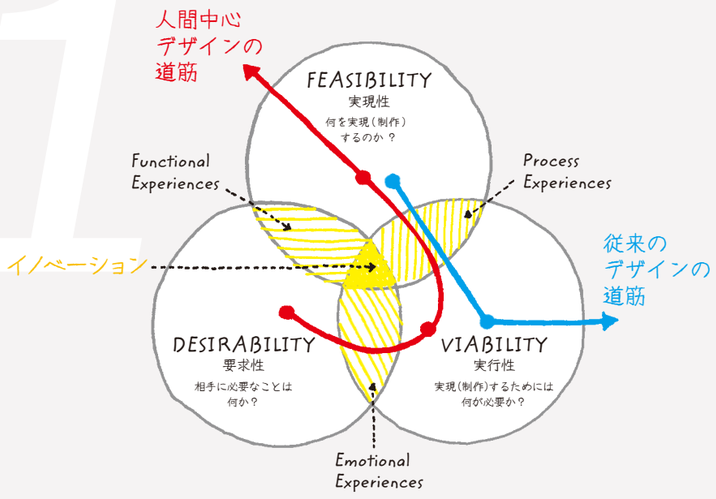
他大学院/社会人
2020年度
群馬大学大学院(教育学研究科)
上越教育大学大学院(学校教育研究科)
東京藝術大学大学院(美術研究科)

→ **大学院 博士(後期)課程**　3年
- 造形理論

美術、デザインだけでなく、人文学や工学、公共政策などを学ぶ他大学の学生も受け入れています

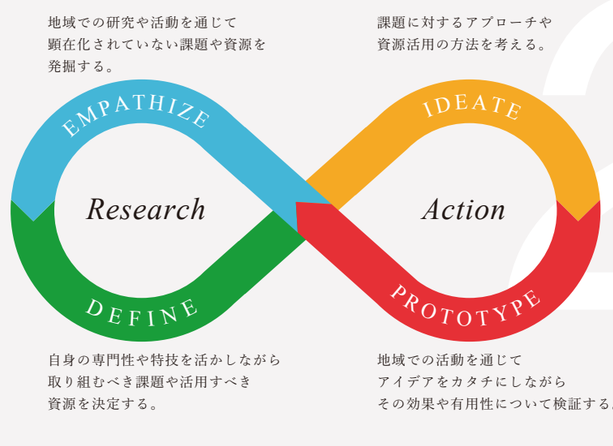
1 イノベーション教育

長岡造形大学大学院造形研究科では、すべての領域に対してイノベーション教育を実施しています。イノベーションの創出には、Desirability（要求性：その人には何が必要か）、Feasibility（実現性：実現のためには何が必要か）、Viability（実行性：それは実現可能か）の三つの要素が必要と言われています。そのなかでも、Desirability を起点とする人間中心設計やデザイン思考をもとに、「どうやってつくるのか？」ではなく「何をつくるのか？」、「なぜつくるのか？」という視点で自身や他者の問題を見つけ出し解決の方法を探求し、一歩先の未来を見据えた「新しい価値を創造する力」の修得を目指しています。



2 デザイン×地域おこし協力隊

長岡造形大学大学院では、2020 年度より「長岡市 × 長岡造形大学大学院イノベーター育成プログラム」いのプロ を開始しました。いのプロは長岡造形大学大学院イノベーションデザイン領域に所属する大学院生がデザイン思考に立脚し、自身の専門性や特技を活かしながら研究と活動を両立しながら地域課題の解決や顕在化されていない地域資源の発掘・利活用などにチャレンジする実践型デザインプログラムです。



3 地域特別プロジェクト演習（三つの PBL を通じた実践型学習）

大学院修士課程のプロジェクト科目は、三つの PBL（Project Based Learning, Problem Based Learning, Practice Based Learning）から一つを選択します。いずれの PBL も自身で問いを見つけだし、制作や活動を通じてその答えを基点に新たな可能性を探究することで、自身の研究やキャリアにつなげます。

Project Based Learning
事業ベース型：長岡をフィールドにチームとして取り組むべき内容を企画・立案し、実践を通してプロジェクトメイキングやグループダイナミクスに必要な能力を修得します。

Problem Based Learning
問題発見解決型：企業や地域社会で顕在化されていない問題に対して、自身の専門性を活かしたアクションを通じてその解決に寄与することを目指します。

Practice Based Learning
制作探究型：実践と理論を行き来しながら自らの専門分野における制作や活動を新たな視点から捉え直し、探究や思考のプロセスを他者に伝えることで研究の深化を図ります。

カリキュラム

修士課程　Master's Program

プロダクトデザイン領域　視覚デザイン領域　美術・工芸領域
建築・環境デザイン領域　イノベーションデザイン領域

基礎科目群	クオーター制を採用し、1 科目を 8 週間で学ぶことで、効率よく基礎的な教養を身につけます。
専門科目群	多彩な 10 科目から各領域の専門性にあわせた科目を選択します。理論と方法論を深化させ、また専門基礎能力を修得します。
ソーシャルスキル科目群	将来のキャリアパスを描き、社会に対して広い視野をもちながら自らの専門性を深めるために、「実務実習」と「起業演習」のいずれかに挑戦します。
プロジェクト科目群	企業の新製品開発、地域観光の拡充、産業の活性化など、社会が抱える様々な問題やニーズに対し PBL をとおして実プロジェクトに取り組みます。
領域科目群	特別研究の助走期間としての役割を持ち、文献研究を始めとした研究に必要な知識や技能などを身につける基礎研究を行います。

特別研究（修士論文等）	研究領域に応じた研究主題を設定し、調査・計画・設計等のプロセスを通じて、主題の特性を考慮した研究の方法論を学修します。研究の成果は、論文または作品としてまとめ上げます。

修了要件　修士課程における修了要件は、次のすべてを満たすものとしています。

- 本大学院修士課程に 2 年以上在学すること。
- 本大学院修士課程の授業科目について、「基礎科目群」から必修 2 単位、選択 2 単位以上、「専門科目群」から選択 4 単位以上、「プロジェクト科目群」から必修 4 単位、「ソーシャルスキル科目群」から選択 4 単位以上、「領域科目群」から選択 4 単位以上、特別研究 10 単位を履修し、合計 30 単位以上を修得すること。
- 修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出し、審査及び試験に合格すること。

※特定の課題についての研究の成果を提出する場合、研究副論文の提出が必要となります。

キャリアパス

プロダクトデザイン領域
大手製品メーカー、メディアアート・先端技術関連企業、起業、博士(後期)課程への進学

視覚デザイン領域
広告代理業(ディレクター、企画部門)、デザイン制作会社、放送局、インターネット関連企業、メディアアート・先端技術関連企業、起業、博士(後期)課程への進学

美術・工芸領域
メーカー、職人、メディアアート関連企業、フリーランス作家、起業、工房主宰、教員、博士(後期)課程への進学

建築・環境デザイン領域
ゼネコン、アトリエ系設計事務所、大手ハウスメーカー、コンサルタント、研究者(教育機関、官公庁)、行政、まちづくり会社、博士(後期)課程への進学

イノベーションデザイン領域
ベンチャー企業（ソーシャルビジネス、ハードウェアスタートアップ)、企業(企画、開発)起業、研究者(教育機関、官公庁)、行政、公益団体、博士(後期)課程への進学

博士(後期)課程　Doctoral Program

造形理論

造形理論	特別プロジェクト研究演習	博士論文
異なる専門領域の複数教員による指導体制にて多角的な視点を身に付け、その上で自らの研究水準の認識を深め、学位論文の作成につなげます。	社会現象の根源にある問題を深く考察し、自らの専門性を生かした課題を立ち上げて、実プロジェクトや実制作を通してその解決に取り組むとともに、新たな価値の創造に挑戦します。	研究テーマに応じた主題を設定し、調査・分析・論文作成等のプロセスを通じて、主題の特性を考慮した研究の方法論を修得します。研究の成果は、博士論文としてまとめ上げます。

修了要件　博士(後期)課程における修了要件は、次のすべてを満たすものとしています。

- 本大学院博士（後期）課程に所定の年限以上在学すること。
- 本大学院博士（後期）課程の授業科目を 10 単位以上修得すること。
- 研究指導を受けた上、博士論文についての審査及び試験に合格すること。

キャリアパス
大学教員、研究者
外国人留学生の場合…自国の政府機関、大学教員
社会人の場合…自機関での専門的な職位

長岡造形大学大学院では、博士(後期)課程を中心に、社会人、外国人留学生を含む多様な学生を受け入れます。社会人入学試験による入学の場合、実務経験を勘案し、特別プロジェクト研究演習の履修が免除されます。

壊す
実践する　創る
Design Thinking

自らと向き合い「研究」の深化に挑む

大学院で

大学院で向き合うのは自分と社会です

自分がこの時代　この場所で
新しい仲間達と　何に向き合い
社会に出るのか

そのためには　造形の研究とともに
自分と　それを取り巻く社会について
広く見つめ考えてください

問題は常に眼前に横たわっています
それをどう捉え 乗り越えて行くかは
あなた次第です

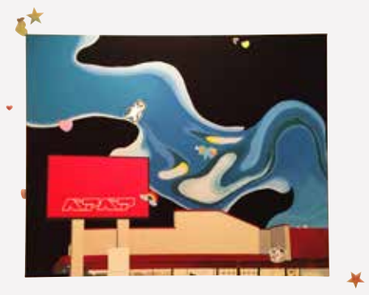
２年は長いようで短い時間です
自分の力を信じ 挑戦してください
私たちはそれを　応援します

大学院造形研究科長
平山　育男

中村健人　プロダクトデザイン領域 2018 年度修了
PMUV（Philippines Micro Utilty Vehicle）
フィリピンにおける超小型モビリティの研究

林裕子　視覚デザイン領域 2018 年度修了
グリーンハイツ 102

多田夏樹　美術・工芸領域 2019 年度修了
ただそれだけで　作品と作者と鑑賞者の関係
–作品による鑑賞者の創造力の生成–



小川大樹　建築・環境デザイン領域 2018年度修了
愛着の形成要因に基づく水環境保全方策に関する研究
–福島潟周辺の地域住民の生活に着目して

近藤祐未　イノベーションデザイン領域 2019年度修了
学生による地域連携活動の有意義なあり方に関する一考察－平成30年度に実施した長岡造形大学大学院「地域特別プロジェクト演習」を例として－

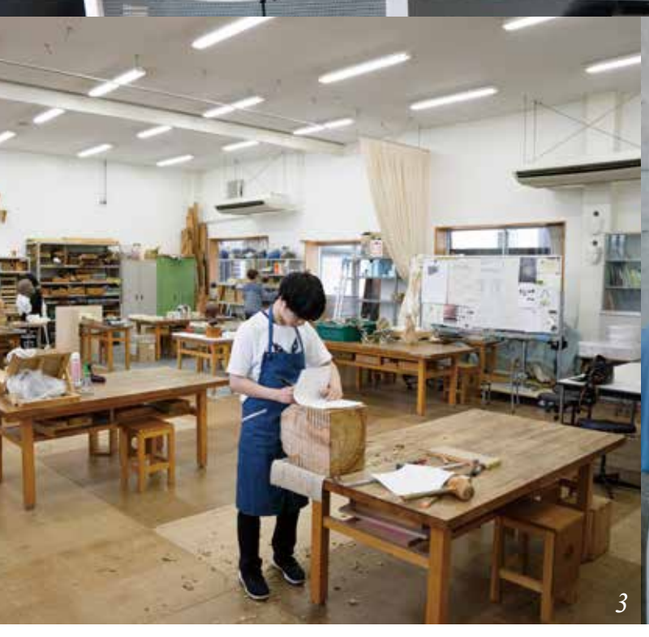
菊地明　プロダクトデザイン領域 2018 年度修了
プロダクトの材料として、セメントの新たな魅力を引き出す研究

渡辺凌介　視覚デザイン領域 2018 年度修了
山景写真が新しい風景写真の可能性を広げる研究

桑原有里佳　美術・工芸領域 2019 年度修了
「Movement」感覚の可視化

佐藤圭真　建築・環境デザイン領域 2019年度修了
ケイマン立体　建築における回帰性と再帰性＋擬似再帰性に関する研究

互いに刺激を受けあうことで研究はさらに進化する



1 大学院研究室

全領域、全学年の大学院生が集い共に学びあう大学院研究室。一人ひとりに割り当てられられた個人デスクと、広々とした作業スペースで研究を進めることができます。また、研究スタイルや専門分野に合わせて学生同士で自由にレイアウトを変更できるように可動式の家具を設置。共同作業を行うためのスペースでは領域を超えたコミュニケーションを行うことができます。

2 プロトタイピングルーム

3D プリンターやレーザーカッターをはじめとしたデジタルファブリケーション機材を備えた工房施設。ラピッドプロトタイピングによるアイデアの具体化や、テクノロジーを活用した実験的な制作など、研究プロセスの様々な段階で活用することができます。作りながら考える環境が思考と実践の往復を促し、研究活動の拡張と深化をサポートします。

3 各種工房・展示スペースなど

各領域で使用する工房や展示スペースを使用することができます。研究スタイルや制作するものに合わせ、専門的な工房で備えている機材を活用することができます。

各領域の一線で活躍する教員

修士課程 5 領域、博士(後期)課程 1 領域の研究指導を担当する教員には、豊富な研究実績と実務経験をもつ、第一線で活躍する教員をそろえています。また、多くの教員は学部と大学院の両課程を担当しており、学部と相互に連携した教育研究体制を構成しています。

指導教員の詳細は大学ホームページよりご覧ください。

入学試験

入学試験に関する詳細は大学院学生募集要項をご覧ください。

アドミッションポリシー　長岡造形大学では次のような人物を求めます。

修士課程 ..... 1.「社会人基礎力」「構想力」「造形力」の素養を幅広く身に付け、 優れた人格を有する者
2. 高度な知識・技能の修得に立脚し、地域・社会をフィールドとする実践的な研究への意欲がある者
3. ものごとを深く洞察し、新たな創造力により問題解決に当たる意欲がある者

博士(後期)課程 ..... デザインの領域を総合的に理解し、地域及び国際社会とのつながりを視野に入れた自立した研究者となるための能力と研究意欲がある者

修士課程 入学試験		前期	後期
一般入学試験 外国人留学生入学試験	出願期間	2020 年 8 月 17 日(月) － 8 月 21 日(金)	2021 年 1 月 18 日(月) － 1 月 22 日(金)
	試験日・会場	2020 年 9 月 4 日(金)　長岡造形大学	2021 年 2 月 19 日(金)　長岡造形大学
	合格発表日	2020 年 9 月 11 日(金)	2021 年 3 月 4 日(木)

博士(後期)課程 入学試験		前期	後期
一般入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験	出願期間	2020 年 8 月 17 日(月) － 8 月 21 日(金)	2021 年 1 月 18 日(月) － 1 月 22 日(金)
	試験日・会場	2020 年 9 月 4 日(金)　長岡造形大学	2021 年 2 月 19 日(金)　長岡造形大学
	合格発表日	2020 年 9 月 11 日(金)	2021 年 3 月 4 日(木)

いのプロ　イノベーター育成プログラム

地域おこし協力隊制度を活用したデザインによる課題解決と人材育成：イノベーター育成プログラムは、地域おこし協力隊制度を活用し、長岡造形大学大学院でイノベーション教育を受けながら、長岡での起業的アクションや地域に根差した活動を通じて、ウェルビーイングの醸成や地域課題の解決、行政ミッション等に挑戦し、未来をつくるイノベーターを目指します。

実施体制：

国内外での実践活動や国際協力などの経験を有するイノベーションデザイン領域の教員による伴走のもと、デザイン思考を通じて自身が長岡で実現したいことやカタチにしたいことにチャレンジしながらノウハウやスキルを身につける「DBL（Design Based Learning）」の実践によって新たな価値の創造を目指します。

処遇と任用形態：

いのプロは長岡市の会計年度任用職員（非常勤）として任用され、月々 96,000 円の報償費（給料）が支払われます。また、活動に必要な経費を予算の範囲内で支給される他（上限 200 万円）、長岡市の公用車や中心市街地に整備した活動拠点「いの Hub」を利用することができます。

応募方法や応募期間：

詳しくは https://www.nagaoka-id.ac.jp/postgraduate/innopro/ を確認ください。

入学検定料・授業料

修士課程 博士(後期)課程	入学検定料		30,000 円
	入学料	長岡市内在住者	141,000 円
		上記以外	282,000 円
	授業料（年額）		535,800 円

・「長岡市内在住者」とは、本人又はその配偶者若しくは 1 親等の親族が引き続き 1 年以上長岡市内に住所を有する者です。
・本学造形学部卒業者は修士課程の入学料を免除します。
・本学大学院修士課程修了者は博士（後期）課程の入学料を免除します。

日本学生支援機構奨学金や授業料等免除などの経済的なサポート制度があります。

日本学生支援機構奨学金

第一種（無利子）奨学金
修士課程：月額 50,000 円・88,000 円から選択
博士(後期)課程：月額 80,000 円・122,000 円から選択

第二種（有利子）奨学金
月額 50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円から選択

国際交流

国際的視野をもった人材を育てることを目的に提携大学との国際交流を推進しています。
短期留学やワークショップによる交流を行っています。

［提携大学］　ハワイ大学建築学部（米国・ホノルル市）／ノリッチ芸術大学（英国・ノリッチ市）
東西大学（韓国・釜山）／漢陽大学（韓国・ソウル）／トリアー応用科学大学（ドイツ・トリアー市）

※東西大学・漢陽大学とは大学院短期留学プログラムによる半年間の交換留学制度があります。また、東西大学とは要件を満たす場合、日本と韓国の修士学位を同時に取得することができる複数学位取得制度があります。

交通案内

路線バス

JR 長岡駅から大手口 2 番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗車、約 15 分。「長岡造形大学前」下車、徒歩約 1 分。

車の場合

長岡北スマート IC
東京方面から：
長岡北スマート IC 出口から信号を左折し、蔵王橋方面へ進む。次の信号を右折し、次の交差点を左折
新潟方面から：
長岡北スマート IC 出口から信号を直進し、次の交差点を左折

長岡 IC
長岡 IC から国道 8 号線を長岡市内(北)へ向かい、車で約 5 分。蓮潟交差点を左折、次の信号を右折